

都市部に生鮮特化店

スーパー2社を子会社化

バローホールディングス(HD)は、生鮮食品に特化したスーパーマーケットの出店に乗り出す。10月に大阪府内を中心に生鮮スーパーを展開する2社を完全子会社化したほか、子会社のタチヤ(名古屋市中区)が、初の青果専門店を12月2日にJR高蔵寺駅(愛知県春日井市)構内にオープンする。都市部を中心に生鮮に特化した店舗の出店を進め、事業規模の拡大を図る。

タチヤの新店舗は高蔵寺駅構内の商業施設「アステイ高蔵寺」に出店。当日仕入れた商品をその日のうちに売り切るスタイルで集客を図る。

11日の決算会見で方針を明らかにしたバローHDの田代正美会長兼社長は、郊外は引き続き従来の店舗運営に取り組みとした上で、「都市部への人口移動が進んでいる。街中では肉、魚、青果の業種店をやっていく」と説明。「業種店は社員教育などが課題だったが、バローは研修施設が整

っている。名古屋や東京にも入っていくことを考えている」と語った。

子会社化したのは、大阪市と名古屋市中で6店舗を運営する八百鮮(大阪市)、大阪府内で7店舗を運営するヤマタ(吹田市)。両社は商店街内や駅前に、鮮魚を中心に扱うスーパーを展開している。取得額は非公表。